

本校は、甲府市の最も東に位置し、周囲を特産のぶどう畑に囲まれた自然豊かな環境の中にあります。校章にも、本校のシンボルとしてぶどうがデザインされています。甲運小学校は、明治6年（1873年）2月に山梨県第11番学校「川田学校」として川田町寿徳院を仮校舎として創立され、令和5年2月には創立150周年を迎えます。

令和3年度は44名の新入児童を迎え、全校14学級289名（4月1日現在）の児童でスターとしました。平成22年に新校舎が建築され、幅の広い廊下や各階に設けられた多目的スペースなど、ゆとりのある広々とした校舎に生まれ変わりました。校舎の南には、昭和44年の中央線複線化に伴う通学路の立体交差化工事の残土で造られた「ぶどっこ山」があり、様々な樹木が植えられています。子どもたちの格好の遊び場、自然とふれ合う場になっていて、休み時間など子どもたちの元気な声が響いています。

学校教育目標は、『子どもたちが来たくなる学校』です。めざす児童像を児童にも分かる表現（かしこく、やさしく、たくましく）として、児童自身が自立できるような基礎を作っていける工夫をし、学校教育目標の具現化を図っています。

子供たち1人1人はかけがえのない存在です。全ての教職員がチームとして子供たちに向き合い意識するとともに、1日1日が大切な時間であることを自覚し、子供たちの可能性を伸ばしていくこと、そのために、子供たち一人一人の人権を大切にし枠にとらわれることのない教育を行っていくことを年度当初に確認しました。保護者や地域の皆様に信頼される学校を目指し、日々の実践を積み重ねていきたいと考えています。

昨年度に引き続き、現在も新型コロナウイルスの感染拡大により、世の中に様々な影響が出てきています。健康のこと、学力のこと、家庭での生活のこと等ご心配は尽きないと思います。学校でも、できること、できないことの中で、少しでも工夫し、今までと同じことはできませんが、前向きに取り組んでいきたいと考えています。子供たちの明るい笑顔のために、職員一同がんばっています。今日の学校教育は、家庭・地域からの信頼と連携なくして成果を期待することはできません。今後何かとご協力いただくことが多いと存じますが、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

令和3年4月吉日
校長 篠原 弘一